

令和3年3月那珂川市議会定例会  
代表質問通告書

| 順番 | 会派    | 質問事項                                | 質問の要旨（具体的に）   |
|----|-------|-------------------------------------|---|
| 1  | 無所属の会 | (1) 新型コロナウイルス感染症について                | ① 国や福岡県では、新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院状況や重症度状況を公開しているが、本市でも公開し市民の協力を得るべきでは。            |
|    |       | (2) 令和3年度予算の概要について                  | ①「新型コロナウイルス感染症の影響による市税収入の落ち込み」とあるが、新たな税収確保や魅力的な政策や事業を積極的に発信し、ふるさと納税の増収は図れないか。 |
|    |       | (3) 新市街地の創出について                     | ①「仲・五郎丸地区をはじめ、その他新市街地の創出についても鋭意取り組む」とあるが、具体的にはイオン出店がなくなったが代わりはあるのか。           |
|    |       | (4) 「地域を結ぶ安全・便利な道路交通ネットワークをつくる」について | ①「JR博多南線のダイヤ改正に合わせて3月13日にダイヤ改正を行い、利便性の向上を図る」とあるが、具体的には何をするのか。                 |
|    |       | (5) 「市民目線に立った行政運営を推進する」について         | ①「RPAやAIなど新たなシステム導入」とあるが、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の導入前後での数値化による効果検証を行うのか。     |
|    |       | (6) 「環境に配慮した地域社会をつくる」について           | ① ごみの「多量排出事業者」とあるが、何を基準に定めるのか。  |
|    |       | (7) 「自然資源を活かした農林業を振興する」について         | ①「有害鳥獣による農作物への被害を軽減するため、従来の罠、銃器による捕獲に加えて、新たな大型の囲い罠による個体数調整」とあるが、具体的な目標数は。     |

| 順番 | 会派  | 質問事項                            | 質問の要旨（具体的に）   |
|----|-----|---------------------------------|---|
| 2  | 公明党 | (1) 新型コロナウイルスワクチン接種について         | <p>① 接種の年齢制限、接種できない要件はあるか。</p> <p>② 介護施設の介護従事者も医療従事者と同様に早期の予防接種が必要だが市の見解は。</p> <p>③ 介護施設に出入りしている民間の外部介助スタッフは、その介護施設の介護従事者として接種の対象となるのか。また、その掌握はどのようにされるのか。</p>  |
|    |     | (2) 「自然資源を活かした農林業を振興する」について     | <p>① 那珂川ヒノキという特定産地の木材を大川の技術で作るという切り口は新しい商品コンセプトになりえる。その認知度をより一層高めるためには、専用サイトや、商品を常設するアンテナショップが必要になると思うが。</p> <p>② 那珂川ヒノキのブランド化を進め、更なる那珂川市産木材の需要を拡大させることで、持続可能な森林サイクルの構築にも資することとなる。そのために、那珂川ヒノキの生産地として木材を使った製品を製造販売するという産業を興す取組を始める考えはないか。</p>                       |
|    |     | (3) 「地域とつながりを築き、交流するまちをつくる」について | <p>① 「活力あるまちづくり促進事業」は、多様な価値観を持つ多くの人たちをつなげ、新たな地域の枠組みの構築や活性化の起爆剤となる。それを市内だけではなく、積極的に市外の多くの地域と連携することで、関係人口の増加、その後の交流人口、ひいては移住人口の増加も期待できる。それを効果あるものとして機能させるには積極的な情報発信が重要だが、この事業の専用サイトの戦略的な情報発信のあり方を検討できないか。</p>   |
|    |     | (4) 今後の情報発信について                 | <p>① 新型コロナウイルス感染症の支援策やワクチン接種に関しての情報発信は重要だけに、今後、正しい情報が市民に確実に届くことが期待されている。本市では、広報なかかわやホームページ、回覧板、Facebook等を通じ幾重にも情報発信している。また災害時には「防災メールまもるくん」やLINEで緊急の情報発信がなされているが、スマートフォンの保有者のLINE利用率 86.9%にも及んでいる状況を考えると、LINEを災害時だけではなく生活情報やイベント告知などの総合的な情報発信ツールとして活用すべきだと考えるが。</p> |

| 順番 | 会派    | 質問事項                   | 質問の要旨（具体的に）                                     |
|----|-------|------------------------|---|
| 3  | 日本共産党 | (1) 新型コロナウイルス感染症対策について | ① 検査や休業補償など新型コロナウイルス感染症対策強化予算を増やすべきでは。          |
|    |       | (2) 子どもの医療費について        | ① 中学3年生までの医療費補助が実現したが、高校3年生までの拡充を求めるが、見解は。      |
|    |       | (3) 高齢者施策について          | ① 高齢者の要望が強い福岡市のようなJRでも西鉄でも使える高齢者の無料パスを求めるが、見解は。 |
|    |       | (4) 下水道料金について          | ① 筑紫地区内の他自治体の基本料金がほぼ倍となっている下水道料金の引き下げを求めるが、見解は。 |
|    |       | (5) 核兵器をなくす取組について      | ① 核兵器禁止条約が発効した。唯一の被爆国、日本が批准するよう市長として求めているが、見解は。 |

| 順番 | 会派     | 質問事項                         | 質問の要旨（具体的に）   |
|----|--------|------------------------------|---|
| 4  | 社民・ネット | (1) 「支え合い、安心して暮らせるまちづくり」について | <p>①「市民による地域力を発揮できる協働社会を推進する」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ活動の衰退が危ぶまれていることを課題と捉え、若年世帯の経済的な不安を軽減する支援と同時に、定住促進事業に引き続き取り組むとある。しかし定住喚起だけでは地域コミュニティ活動の発展は望めないと考える。市は地域コミュニティ活動の発展をどのように図る考えなのか。</li> <li>・地域が主体となった地域おこし活動の具体的な支援内容と効果の想定は。</li> </ul> <p>②「市民の安全な暮らしを守るまちを実現する」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の強化のためには、女性の視点を活かした地域防災力が必要である。防災士資格取得に向けた市民防災リーダー育成事業に対する女性の比率を高めるなどの取組が必要と考えるが見解は。</li> <li>・地域防災力の強化は重要な課題であり、その一翼を担っているのは消防団員である。本市の消防団員の報酬は、春日・大野城・那珂川消防署内においても低額であり、本市の防災対策を図っていく上で、消防団員のモチベーション向上に向けた処遇改善及び設備の充実が必要であると考えが見解は。</li> </ul> <p>③「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者自らが自家用車を運転する際、加害者となる交通事故を防止するため、安全運転装置の購入・設置費用に対する補助金を創設するとあるが具体的な内容は。</li> </ul> <p>④「地域が支え合う社会、誰もがともに暮らせる社会をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における聴覚障がい者への意思疎通支援を強化するため、新たにタブレット端末を活用した遠隔手話サービスを実施するとあるが、コロナ禍に限定した施策か。また、それに対する国の補助は。</li> <li>・心のバリアフリーに取り組むためには障がい者に関するマークの普及と同時に、更に踏み込んだ施策が必要と考えるが見解は。</li> </ul> |

| 順番 | 会派                     | 質問事項                         | 質問の要旨（具体的に）  |
|----|------------------------|------------------------------|--|
| 4  | 社<br>民<br>・<br>ネ<br>ット | (2)「誰もが学び、育むまちづくり」について       | <p>①「多様な市民の人権を尊重した社会をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度に策定された「第2次男女共同参画プラン後期基本計画」により、各種の施策、啓発等が行われており、一定の成果が上がっている。自治会役員に女性が少ないなどの課題についても、今年度より自治会役員の女性の比率を高めるための補助金制度が実施された。施政方針の中に「地域における女性の参画を進めるため新たな施策を進める」とあるが、新たな施策の具体的な内容はどのようなものか。</li> </ul> <p>②「健やかで「生きる力」を持った子どもが育つまちをつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教育を推進することにより「協働的な学び」を推進していくことは重要であるが、「協働的な学び」を推進していくためには、教員の学級経営能力やスキルアップが不可欠である。子どもたちの「生きる力」を育むためには、教員に対する更なる支援と学校業務の負担軽減が更に求められると考えるが見解は。</li> <li>長期化するコロナ禍において、いじめの認知件数や不登校の児童生徒が増えている。子どもたちの心理的な不安解消や保護者の経済的環境を含む、更なる相談体制の充実が必要である。スクールソーシャルワーカーの増員数と処遇改善の見解は。</li> </ul> |
|    |                        | (3)「自然と調和した快適に暮らせるまちづくり」について | <p>①「市民目線に立った行政運営を推進する」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政運営の効率化については、職員の働き方改革と併せて事務の効率化を図っていくべきであるが、長期化するコロナ禍において、職員の勤務形態やテレワークの推進など業務のあり方についても検討する必要がある。コロナ禍における業務についての見解は。また、RPAやAIなどの新たなシステムを導入するとしているが、具体的に想定されている業務はどのようなものか。</li> <li>職員が働きやすく、働きがいを感じられる職場環境とは具体的にどのような環境を目指すのか。</li> </ul>   |
|    |                        | (4)「自然の豊かさを感じるまちづくり」について     | <p>①「環境に配慮した地域社会をつくる」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭系可燃ごみの組成調査に基づき、ごみの削減につなげるとあるが、ごみ問題は市民との協働なくしては解決に向かわない。関心の薄い世帯への働きかけについての見解は。</li> </ul>  |

| 順番 | 会派     | 質問事項                                 | 質問の要旨（具体的に）  |
|----|--------|--------------------------------------|--|
| 4  | 社民・ネット | (5) 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について          | <p>① 新型コロナウイルスワクチン接種推進室の具体的な業務内容及びワクチン接種に向けた要員確保、接種場所、接種方法などの具体的内容は。また、市民への周知をどのように行うのか。</p> <p>② 新型コロナウイルスワクチン接種に伴う副反応による健康被害についての認識は。また、市民への周知方法は。</p> |
| 5  | 清流自民   | (1) 新型コロナウイルス感染症対策について               | ① 市民や事業者等に対する新たな支援策は考えているのか。   |
|    |        | (2) 「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境をつくる」について | ① 「定期巡回・随時対応型訪問介護」の具体的なサービスの内容はどのようなものか。   |
|    |        | (3) 「自然と調和した快適な都市基盤をつくる」について         | <p>① 仲・五郎丸地区及び西隈区の新市街地の創出について、どのような取組を考えているのか。</p> <p>② 南畑バイパス事業による工事車両の増加が考えられるが、地域住民の安全確保のために現存する道路に歩道を設置することを県に陳情する考えはないか。</p>                        |
|    |        | (4) 「自然環境を活かした農林業を振興する」について          | <p>① 生産性を高める取組や収益性の高い作物への転作への取組とは、具体的にどのような農作物を考えているのか。</p> <p>② 有害鳥獣の個体数調整を実施するとしているが、現在どれだけの個体があり、それをどの程度に減らすと考えているのか。</p>                             |
|    |        | (5) 「地域の経済・雇用を支える産業を創出・育成する」について     | <p>① 企業誘致等私有地土地活用台帳が策定されているが、現在の登録者の状況は。</p> <p>② 地権者からの登録依頼を待つだけでなく、行政から働きかける取組は行っているのか。</p> <p>③ これまでの企業誘致に至った件数は何件か。</p>                              |
|    |        | (6) 「歴史・文化・芸術を通じた多彩な交流を広げる」について      | ① 貴重な歴史遺産を継承するためにミリカローデン那珂川のリニューアル工事に合わせて常設展示する考えはないか。   |
|    |        | (7) 光触媒による感染症予防対策について                | ① 光触媒による新型コロナウイルス感染症予防対策が有効とされているが、本市の公共施設に導入する考えはないか。   |